

第3期 武雄市まち・ひと・しごと 創生総合戦略の策定に係る市民意見 について

武雄市 企画政策課

1. 市民ワークショップ(たけおのまちづくり未来会議)

(1)概要

<目的>

武雄市のまちづくりに関して、幅広い世代の市民意見を聴取する。

<実施概要>

○開催日及び場所

7/23(火)川登中学校、7/25(木)武雄北中学校、
8/4(日)武雄市役所、8/6(火)北方公民館、
8/8(木)山内公民館

○参加者 延べ127名

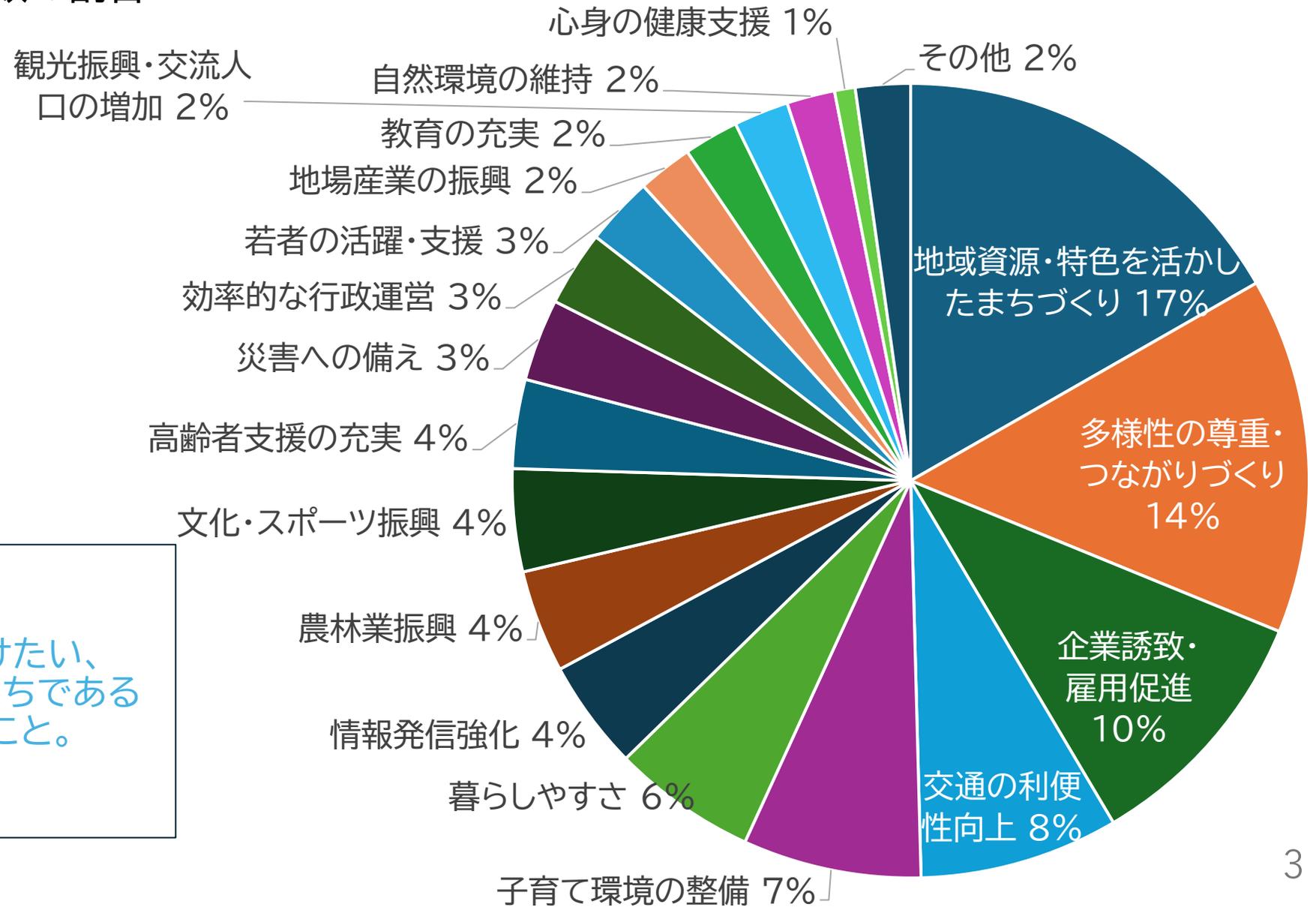
○内容

- ・武雄市の魅力や、未来に向けて個人、団体(企業)、地域、行政がすべきことについて、数人のグループに分かれて話し合い、意見を発表。
- ・他者の意見を聞いた上で、今後、未来に向けて個人、団体(企業)、地域、行政がすべきことを個人がシートに記載。



1. 市民ワークショップ(たけおのまちづくり未来会議)

(2)意見の分類別件数の割合



<問い>
5年後の武雄市が住み続けたい、働き続けたい、訪れたいまちであるため、今、私たちができること。
(自由記載)

2. 各種団体へのヒアリング

(1)概要

<目的>

武雄市の魅力や今後武雄市がすべきことについて、あらゆる視点からの意見を聴取すべく、市に関連する各種団体等へヒアリングを行う。

<実施概要>

○ヒアリング期間8月上旬～9月上旬

○実施方法武雄市につながりのある団体等を対象とし、市の関連部署から聞き取りを行う。

○対象団体等 約70団体

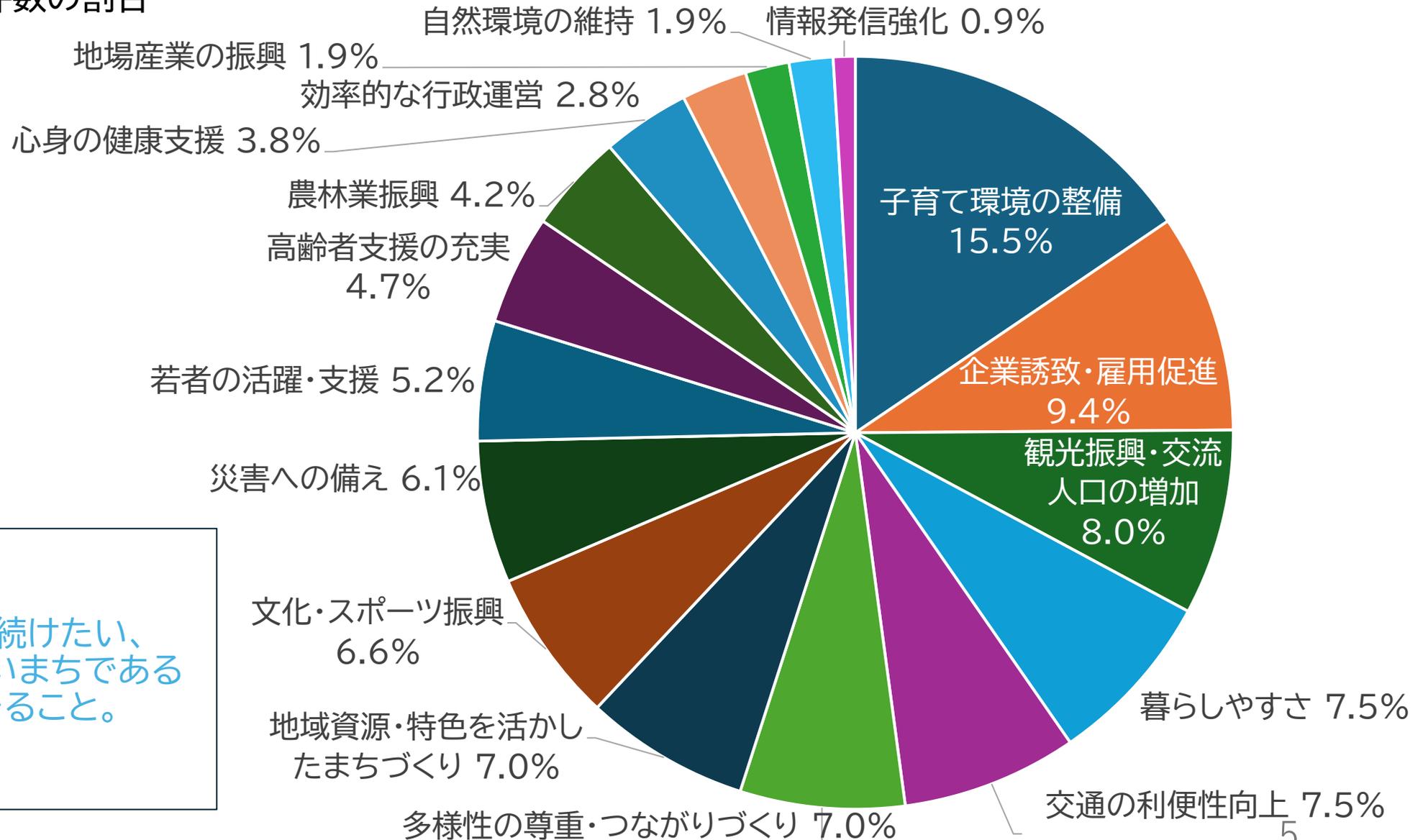
(まちづくり・商工・農林業・教育・文化関係団体、市の施設利用者 等)

○内容

・未来に向けて個人、団体(企業)、地域、行政がすべきことについて、シートに記載。

2. 各種団体へのヒアリング

(2) 意見の分類別件数の割合



<問い>
5年後の武雄市が住み続けたい、働き続けたい、訪れたいまちであるため、今、私たちができること。
(自由記載)

市民ワークショップ(たけおのまちづくり未来会議)における市民意見

下記は、「5年後の武雄市が住み続けたい、働き続けたい、訪れたいまちであるために、今、私たちそれぞれができることは何だと思いますか？」という問いに対して頂いた意見を市で要約したものです。なお、同じ趣旨の意見については、掲載を省略しております。

【意見分類1】

地域資源・特色を活かしたまちづくり

<意見に対応する総合戦略の具体的施策>

基本目標⑤つなぐ～未来へ続くまち～/具体的施策(1)地域の特色を活かしたまちづくり

No.	意見要約
1	区役や行事は、内容や時期を工夫し、誰もが楽しめ、負担と感ずることなく、自ら参加したいものにする。
2	地域の高齢化が進み、区役や伝統芸能などが、若い世代にとって重くなっている。高齢者でも元気な方は活動にどんどん参加してもらい、若い世代に負担が偏らず、幅広い世代間でコミュニケーションをとれるよう、地域行事の在り方を見直す。
3	若い人の区費の負担を少なくする。
4	地域保全を継続するため、区役を事業者が請け負い、事業者に対する行政の補助ができないか。
5	地域・近所のつながりを深め、助け合いで安全安心なまちをつくる。
6	現在住んでいる人ができる限り地域に残り、地域のコミュニケーションを醸成する。
7	今住む地域に住み続け、地域の魅力を発見し、PRすることが大切。
8	田舎の良さである深い関りを世代を超えて受け継いでいきたい。
9	地域の役や行事に参加し、コミュニケーションを取ること。
10	武雄町には施設があるが、他の町は少ない。武雄町以外にも施設をつくるなど、施設の分散化が必要。

11	各地域の老人会、婦人会、消防団、子供会、サークルクラブなどの、継続可能な組織づくり。
12	市営住宅をつくり、人口を増やす。空地対策も必要。
13	地域を好きになること。地域を好きになれば、ウィークポイントがあっても住み続けられる。
14	自分のまちを誇りに思うこと。郷土愛があれば、訪れた人もそのまちを好きになるのではないか。
15	公民館が、異世代サークルなど、誰もが気軽に使える場、楽しい場になればいいと思う。
16	公民館が、宿題や遊びの場としての利活用が進むような、取り組みをしてはどうか。
17	地域に住む人々を大切にすることで、地域から人が出ていかず、その地域を担う人が育つのではないか。
18	地域にある物、品、店等を活用することが、その地域の維持につながる。
19	同じ趣味を持つ人等、町の人同士の交流ができる場所があれば、住みやすく居心地が良いと思う。
20	地域での話し合いの機会を多くする。
21	幼い頃開催されていたイベントがなくなってきている。課題は色々ある中、開催すれば地域の活性化につながる。
22	子ども会の人が減っているので、小部落の近い所で合同でイベントを行い、子ども達の思い出を作る。子ども世代は大人になったときに戻ってきたいと思うから。
23	地元のイベントへの積極的な参加(せっかくイベントが企画されたり、施設ができたりしても、利用する人が増えなければ、十分な効果がでないと思うから。)
24	新幹線が見える施設がなど、今あるものを観光資源にして集客を図る。
25	丸山公園からは街が一望できる。駅周辺の開発で丸山公園をうまく利用できないか。
26	山内町の三間坂駅周辺で夜市を開催し、年配の方の思い出をよみがえらせる。子どもたちの思い出にもなる。

27	大楠公園の周辺整備を行い、大楠をきっかけとして若木に来てもらえる印象づくりができれば、次の世代に繋がると思う。
28	大楠公園を、地産地消ができる、観光と食がつながる場所として整備し、地域の活性化を図る。

【意見分類2】

多様性の尊重・つながりづくり

<意見に対応する総合戦略の具体的施策>

基本目標④彩る～交流しにぎわうまち～／具体的施策(3)多様なつながりで築く豊かな地域づくり

No.	意見要約
1	人口を増加させる。人がいないとまちにならない。何もできなくなる。
2	故郷へのUターン者を増やす。
3	移住者を増やす、移住者と交流することで、新鮮な意見を得られるのではないか。
4	外から来た人は困りごとがあっても言えなかったりする。行政が地域との仲介役になって欲しい。
5	移住も人口増になるひとつの手段と考える。旅行で武雄市を訪れて、とてもよい印象を受けられたら、ひょっとして『住みたい』という思いがうまれてくるのではないか。また、大学の設置構想があるが、大学ができると若者が武雄に移住することが多くなり、定住、結婚等、人口増につながると思う。また、在学中に学生たちの発案で会社経営など多様性が出てくるのではないか。
6	未婚率の改善、少子化対策を行い、子どもが多いまちを目指す。
7	未婚者が結婚できるよう、婚活パーティー等を開催する。
8	お互いが協力し合い批判するより、まずは自分達で同じ立場で取り組んでいく。何をやるにも一人では出来ない。お互いコミュニケーションを大切に助け合う心を大切に、問題解決していく。
9	大人も子どもも、笑い声が響く地域を目指す。
10	地域の役割の中に女性の活躍が増える様になって欲しい。

11	これから社会を進めていくのは、今の若者たち。次世代を担う人の声なくして、将来まちは続いていかないと思うため、若い人・世代とのコミュニケーションをとるべき。
12	若者が集まり、語る場づくりを進めてはどうか。地域でつながりができれば、町内にとどまり、地域をもっと良くしようと思うのではないか。
13	若者との意見交換の場をもっと設置してもらいたい。武雄市を支え、築いていくのは若者の知恵とエネルギーだと思う。
14	学校などで大人が全て判断していると、若い人たちの意見が言えなくなる。こどもたちの意見を聞く場を設けることで、行動力や判断力に良い影響があるのではないか。
15	5年、10年後これから先の未来を担う中高生の考えも大事になってくる。若い世代も住みやすい町にするには流行を取り入れて武雄に注目してもらいたいと思う。
16	若者に寛大な対応をして欲しい。もっと今の若者の生き方を理解してほしい。
17	市議・県議を若い人から選出(地域の意見が通りやすくなる)
18	地域、町全体を見回してすべて男性中心に物事が進んでいる。地域の役員を女性、男性半分(50%)にできれば。
19	思っているだけでは実現できないことが、今回の市民ワークショップの様な場で声に出すことで実現できるかもしれない。思っていることを話し合える場に、たくさんの人が参加できたらいいと思う。
20	武内町では、各種イベントに若い世代を含めた町民が興味・関心を持ち取り組んでいる。こうした公民館を主体とした町民を巻き込んだ取り組みから輝きをはなち楽しい田舎づくりが生まれてきているように感じる。武雄市内の各町も課題解決の為にワークショップから始めるのはどうか。
21	挨拶が気軽に誰とでもできる運動(コミュニケーション作りの始まりは挨拶であり、何かを起こそうとするきっかけになると思う)
22	地域外の方が来られても、できる限りの笑顔でおもてなしする。
23	誰にでも笑顔で接する。みんなが笑顔なら地域や社会は明るくなると思う。
24	みんなが挨拶できるまちづくり。始めるのは自分。自分が出来るようになれば、そのうち周りも出来るようになるはず。
25	挨拶をし、地域でのコミュニケーションを取りやすくする。
26	知り合いを増やせたり、色々な考えを知る事ができる対話の場を増やすことから始めるべきだと思う。

27	色んな人意見をきくことでどういったまちが必要とされているか知る事ができる。商業施設など、とにかく色んな人の目につく所にアンケートBOXを置くのはどうか。
28	SNSなどを活用し、市民がどのようなもの、事を求めているのか気軽に言える場をつくる。
29	近所でアイデアや趣味、活動を共有する人たちを見つける場所が必要ではないか。(料理、ゲーム、音楽、アート、農業など)
30	人とのつながりがつくれず、生きがい無くした人たちがいる。人と人とのつながりが生まれる場所や機会づくりが必要。
31	地元の方、市外の方、県外の方、海外の方など色んな人が交流できる場を作る。(自分が将来地元に戻ってきたいと思うのは、安心出来るからという理由があり、それは周りの人たちとつながりがあるから。)
32	地域活動・イベントへの積極的な参加・声掛け(少子高齢化が進む中でも住み続ける為には、まず人と人とのつながりが大事であり、そのつながりを作る為の1つの方法になる。)
33	小さなものからでもいいので、イベント等に積極的に参加する。自分の街へ関心を持つ第一歩になると思う。また、自分自身が主役だという気持ちを皆が持つことで、街づくりへの意欲が高まると思う。
34	みんなが参加できるイベントを開催することで地域活性化になる。
35	色んな地域や海外との交流を増やし、視野を広げる。
36	学校で多国籍料理教室などを開催し、他文化を知る事。
37	多様な価値観があることを知ってもらえるような企画を行う。
38	今できる人ができない人を思いやり、助け合う。

【意見分類3】

企業誘致・雇用促進

<意見に対応する総合戦略の具体的施策>

基本目標②稼ぐ～働きがいのあるまち～／具体的施策(3)新たな活躍の場づくり

No.	意見要約
1	企業進出を促すため、優遇制度の充実など、企業が進出しやすい環境整備が必要。
2	工業団地を整備し、仕事場のあるまちにする。
3	企業誘致が必要。選べる様な職場が近くに無いので、若い人が定住しづらい。
4	熊本のように大きい企業が誘致できれば、いろんな意味で活性化すると思う。
5	大企業の誘致を進める。また、人口減少、高齢化は避けられないので、実情に合わせて70才位まで就業できるようにすべきではないか。
6	企業誘致により、定住人口や市の税収を増やすことが必要。
7	人口を増やして活気のある武雄市にする為に、企業誘致が必要。
8	若者が働きやすい企業の誘致をお願いしたい。
9	働き場を増やすなど、若者を地方にとどめることで、活気ある地域づくりを行う必要がある。
10	農業も地域の保全活動も人口減少で、なり立たなくなる。それらを企業化して補助金を投入してでも仕事として成立させていくことが若者を定着させる手段だと思う。子供を増やすには、それしかない。
11	自分が年を取り、リタイヤした場合でも子供が働ける職場があったら、その他の県に行かなくて良い。
12	若者が住み続ける為には地元で働く場所が必要。そして結婚し子育てを地域みんなですていける町づくりが必要。
13	武雄市で安定した職と収入で生活出来るのであれば転出することがない。魅力ある企業に進出してもらい若者を確保する。

14	企業誘致による働く場の確保、遊べる場所の確保も重要。
15	今の子供達(高校生)が地元で働いて生活出来る賃金の企業誘致が必要。
16	若い世代に、地域に住むように少々の金銭的補填を考えたらどうか。
17	全ての人がフルタイム、週5日働くことは現実的に難しい。それぞれの能力、特性を認め合って互いが補い合いながら働ける職務があると安心して働ける人が増えると思う。
18	空き校舎をスタートアップ企業等がつかえるようにできないか。
19	仕事においても、趣味においてもチャレンジし易いまちには、人が集まると思うため、本当に意欲的な人が行う、意味のある取り組みに、補助金等を活用して欲しい。

【意見分類4】

交通の利便性向上

<意見に対応する総合戦略の具体的施策>

基本目標⑤つなぐ～未来へ続くまち～/具体的施策(2)持続可能な公共交通の整備

No.	意見要約
1	福祉の視点から、自動運転を活用した交通網を整備する。特に、農村部に効果があるはず。今住んでいるところに住み続けることができる。
2	利便性の良い町づくり。 病院や買物に行くにも近くになく不便なので、利用しやすい交通手段があれば便利。
3	通学、通勤、買い物、通院、どの年代でも安心して生活できる移動手段が必要。
4	移動手段の拡充。 地方都市にとって移動手段は、買い物、病院、学校と、移動したいタイミングに移動できることが、住みやすいにつながる。
5	遠距離通勤が出来る新幹線の全線開通。 都市部への通勤を可能にし、若者の定住を図る。
6	新幹線利用者への自動運転シャトルバスを導入することで、交流人口が増えて経済が活性化するのではないか。
7	新幹線は開業したが、今後も発展するには、訪れやすくする為、交通・インフラ整備必要不可欠である。

8	お年寄りにもやさしいまちづくり。車がないと何もできない。車が運転出来なくなると不便、買い物もできない。
9	ほんわカーの普及。車の免許を持っていない学生が天候を問わず移動でき、料金もバスに比べたら安いから。
10	ほんわカーの活用。 高齢者だけでなく学生の利用がしやすいようにラッピングバスにし、停留場所の見直しをする。
11	ほんわカーの便を増やして欲しい。 利用しているが、便が増えるともっと利用できる。誰が利用できるのか周知されていないのでしっかり伝えて欲しい。
12	公共交通機関の利用。 未来に残していくためにも、今あるものを積極的に利用することも大事だと感じた。

【意見分類5】

子育て環境の整備

<意見に対応する総合戦略の具体的施策>

基本目標③育む～成長を支えるまち～／具体的施策(1)安心できる子育て環境の整備

No.	意見要約
1	各小部落でコミュニケーションをとり、子どもを育てやすいまちにする。
2	こどもと地域の人が気軽に声掛けできるなど、こどもと大人の距離が近い環境をつくることで、安全安心な地域づくり、子育て世代にとって住みよいまちづくりにつながる。
3	子育て支援(地域での見守り)が必要。賑やかな子供たちの声は人を元気にする。子供を産みたい、育てたい町づくり、少子高齢化対策で最も必要なこと。
4	子どもと親が安心して利用できる空間づくり、気軽に喋れる地域の人々の存在が大切。
5	社会的親で見守る子育てが必要。 子どもには生みの親だけでなく社会的につながりのある社会的親の存在が必要です。子育てに不安のある親にとっても子育てのやり方を教えてくれる社会的親の存在は心強いものになります。
6	子育て世帯への支援を充実させ、子育てがしやすい、楽しいと思えるまちにすることが必要。
7	子供の数が減少する理由に、子供にかかる費用が大きいことが考えられるため、親の負担を減らすための手当などを増やす。

8	地域のこどもが少なく、将来、学校に行けるのか不安。子育てに対する補助金等対策が必要ではないか。
9	お金がかかる為、放課後児童クラブに預けられない人もいる。無償化してはどうか。
10	三世帯同居家族等に補助金を出すことで、子どもが市外に出ていかないのではないか。
11	給食費を無償化し、子育て世代の経済的負担を減らす。
12	仕事のために子どもをみれない、シングルペアレントへの補助、支援が必要でないか。
13	他の市町より子育てしやすい政策をとり、人口増につなげる。
14	学校や地域で、まずは自分たちが、こどもと一緒に楽しみ、町を好きになることが必要ではないか。
15	武雄に定住するために何が欲しいか、どの様に住みたいかなど、子育て世代から意見を収集したうえで、スピード感をもって対応することが必要。
16	全ての子どもが安心して生まれ育っていける環境をつくるには子どもの権利が守られることが必要です。子どもの権利・条例を作ることで目的が明確になります。子どもに優しい町、武雄を目指したい。
17	市内で語り合い聴かせ会を実施し、絵本を通して感性、心豊かな子供たちになって欲しい。武雄、日本を担う子どもたちのために武雄市を絵本のまちへ。
18	幼・保・小・中の一貫教育化し、異年齢・異世代との交流を深め、送迎の負担も軽減する。
19	誰もが利用できる全天候型の遊び場があれば、世代をこえた交流や、CO2削減、健康維持につながるのではないか。
20	有田町で行われていたような、学童保育における大人と子供のコミュニケーションの場づくり。多世代交流を増やす。
21	こどもが楽しく過ごせるまちづくりが必要。
22	地域のこどもたちが、安全安心に過ごせる環境をつくり、将来もこどもたちと楽しく過ごしたい。

【意見分類6】

暮らしやすさ

<意見に対応する総合戦略の具体的施策>

基本目標①守る～安心して暮らせるまち～/具体的施策(2)暮らしやすい住環境の整備

No.	意見要約
1	遊歩道や河川のピンピン橋等、老人が憩える環境の整備。
2	就労場、遊び場、ショッピングができる場所など、集まりやすいところがあれば人も増加し、楽しくなる。
3	買い物、娯楽、食事ができる一体型の訪設があると、生活の快適さが向上する。
4	周辺部にもスーパーがあれば、生活がしやすくなる。憩いの場にもなる。
5	高齢者になれば買い物も公共機関を使って行動する事が厳しくなるため、スーパー等が近くにある事が望ましい。
6	賃貸の住居を建設する。(定住につながるかもしれない。)
7	若い人が地元に戻って来た時、住めるようなアパート等を作る。(空家が古い又は空いていない。)
8	清潔で美観の良い街。見た目にやさしい街づくり。
9	草刈りを行うこと(整備された環境はみんなの意識を変えようと思うから)
10	インフラ、学校、交通を整備するなど、若い人が住み続けられるまちにする必要がある。
11	武雄の自然に溶け込むような統一感のある景観になると、訪れた人の印象に残りやすいと思う。
12	家庭での勉強が難しい人などにとって気軽に勉強できる学習スペースがある事で日々、過ごしやすくなると思う。
13	気楽に安心して立ち寄れるスペースの確保を求める若い人の意見が多いため、対応する必要があるのではないか。

14	勉強以外にも様々な目的で使えるスペースをつくる(図書館、市役所など学習スペースは充実しているが、アクティビティに活用できるスペースが少ないと感じる)
15	気軽に誰もが活用できるような公共のスペースがあれば、趣味などを楽しめ、みんなが健康で元気に過ごせるのではないか。
16	三世代が一緒に住める町づくりを目指したい。
17	公園などに屋根やミストをつける(夏は暑くて屋外で活動できない。)
18	木を植えるなどして、まちに日陰をつくる。
19	武雄市には美しい自然があるが、街や公園は寂しく見える。街路、公園、キャンプ場に木々がもっとあれば、涼しくなって訪れるのが楽しくなるのではないか。

【意見分類7】

情報発信強化

<意見に対応する総合戦略の具体的施策>

基本目標④彩る～交流しにぎわうまち～/具体的施策(2)効果的な情報の発信

No.	意見要約
1	武雄市を好きになること。 自分の町をまずは好きじゃないと、住み続けたい、働き続けたいとは思わないのでは。また、他の人にも武雄市をPRできない。
2	武雄に長年住んでいるが、武雄の歴史や武雄に関する事をあまり知らなかった。地域の様々な事を情報収集したり、発信する事で、武雄の魅力を再発見し、住み続けたいと思えたらいいのではないか。
3	今ある魅力をもっと市内・市外の人に広める。新しいものをつくりだして人を呼び込むことも大事だが、歴史や今あるものに価値をつけて広めていくことも大切だと思う。そして広めるためには、自分たちがよく知ることが大切。
4	武雄市のいいところをアピールし、たくさんの方に来てもらえるようにしたい。移住にもつながるのではないか。
5	宣伝については、デジタルだけでなく、アナログな方法も取り入れるべき。
6	SNSを活用した情報発信。(遠方の人や様々な年代の方に発信できるから)
7	武雄の観光名所や隠れた美味しいご飯屋さんなどをSNSで発信し魅力度を上げる。

8	イベントの周知。 地域、団体が主体となって開催されているイベントの周知に協力し、価値を高める。
9	各地の取組がバラバラであり、市として一本化した情報発信をしてはどうか。
10	市内には多くの飲食宿店があるので、SNS等で発信し、市の魅力をPRする。
11	武雄の自然の美しさをアピールする。武雄の自然はとても美しく、その美しさを知れば多くの人を訪れると思う。

【意見分類8】

農林業振興

<意見に対応する総合戦略の具体的施策>

基本目標②稼ぐ～働きがいのあるまち～／具体的施策(2)強い農林業づくりの支援

No.	意見要約
1	武雄市の特産品となる農産物の開発により、農業者の所得向上とともに武雄市のPRにつなげることが必要。
2	武雄市特産物を海外へ販路を開拓して販売し、農業収入を増やす。農業でサラリーマン以上の収入を目指す。
3	くだもの(ブドウ)のまちにしたい。
4	庭先にイノシシが出たり、農産物を荒らすため、安心して生活、農業ができるイノシシ対策が必要。
5	農業だけでは生計が立たないため、農業離れがおきている。農業の活性化ができないか。
6	会社員の様に生活が保障される就農体系づくりが必要。農業の高齢化も緩和できるのではないか。
7	今後、数年で農業人口等が激減化し遊休田の発生は間違いない。若者が継続するような何かの対策を早急に考えるべき。
8	農業の活性化が必要。農業地域の人口減少が大きい。農業での生活が難しく、勤めに出る人が増えている。後継者がいなくなる。
9	地域を守るためには、営農が必要である。

10	ただ守るためだけの農業ではなく、生業としてやっていけるものにする必要がある。
11	食は命であり、農業を大切にすべき。
12	市外の人を招いて草刈り体験等のイベント化を行い、耕作放棄地の解消にもつなげられないか。
13	月一回の武雄キッチンデーを実施し、武雄市で採れた食材を使い地域の農家さんを支援するとともに、郷土料理などに触れる機会をつくる。

【意見分類9】

文化・スポーツ振興

<意見に対応する総合戦略の具体的施策>

基本目標③育む～成長を支えるまち～／具体的施策(4)文化・スポーツを身近に感じる環境づくり

No.	意見要約
1	歴史と文化をアピールする。
2	伝統や文化を身近にし、伝えていくことが必要。伝統や文化には続く理由があり、知らずにいるとアイデンティティが失われる。
3	浮立、あらおどりを知ること。 地域ごとの伝統芸能を次の世代に残すためには、マネタイズ出来ることは重要。神事ではあるが観光への紐づけが出来れば良いと思う。
4	歴史・文化を継承していくことが必要だが、子ども世代へ教える場、学びの場が少ないと感じる。 歴史を知ることが、住み続けたい、訪れたいという思いにつながるのではないか。
5	その地域の歴史文化を知ること。 歴史文化はその地域にしか無く、磨きやすい。地域を大切に、盛り上げよう、お金を回そうという動きが出てくるのではないか。
6	若い世代に歴史を伝える。 歴史を知らないままだと、魅力がわからず住み続けたい、訪れたいとは思えないから。武雄の魅力の1つである歴史をもっと深く知るべきだと思う。
7	1つの観光の場として、武雄市の色々な歴史を見れる場所がほしい。
8	より多くのフェスティバルや文化イベントを開催すること。 お祭りやイベントは、人々が楽しみ、まちとのつながりを深める良い方法である。

9	ひとりひとりに出番がある企画(イベント)の実施。人と人のつながりの創出、生きがいにつながる。
10	スポーツ店の誘致。 スポーツ用品を買うには、佐賀市など少し遠い所に行く必要があり、レンタル屋か専門店があれば、武雄でスポーツを行いやすくなる。
11	ユーススポーツの振興。 子どもたちには、勝つことを気にせずにさまざまなスポーツを体験できる場所が必要。
12	色々なスポーツが手軽に出来るような施設の誘致や情報発信が大切。若者(学生時代)の楽しかった思い出が武雄市で残れば、住みたい、帰ってきたいと思ってもらえるのではないかな。

【意見分類10】

高齢者支援の充実

<意見に対応する総合戦略の具体的施策>

基本目標①守る～安心して暮らせるまち～／具体的施策(4)高齢者・障がい者の充実した暮らしの支援

No.	意見要約
1	病院、施設が近くにあり、老人が安心して住めるまちが理想。
2	一人住まいが増えているため、声掛けが必要。
3	更なる高齢化を見据え、老人の一人暮らしでも生活が継続できるまちづくり。
4	eスポーツや、昔の遊びを知る機会をつくることで、こどもと高齢者など、世代間交流が生まれ、まちが豊かになるのではないかな。
5	高齢者が元気に趣味や旅行を楽しめるよう、健康づくり継続すること。
6	観光ボランティアガイド等に高齢者が従事してもらうことで、高齢者の生きがいにつながるのではないかな。

【意見分類11】

災害への備え

<意見に対応する総合戦略の具体的施策>

基本目標①守る～安心して暮らせるまち～／具体的施策(1)災害に強いまちづくり

No.	意見要約
1	令和元年と令和3年の水害にあった地域では人が離れている現状にある。災害を無くすことは難しいかもしれないが、発生率や被害の程度を下げる取り組み、被災後の対応が重要である。
2	水害に対する知識、情報を共有し、災害に対する準備を心がけておくことが大切。地域的に水害に関して全く被害等ないところもある。他人事と思わないことが大事。
3	過去5年間で2度の大災害(大雨)をうけて不安になっている住民の方々が多いと思うので、関係機関と協力して治水対策を早期に完了する必要がある。
4	橋町、朝日町、北方町は水害におびえている人がいるので、早く市民が安心して暮らせるよう早く対策が必要。

【意見分類12】

効率的な行政運営

<意見に対応する総合戦略の具体的施策>

基本目標⑤つなぐ～未来へ続くまち～／具体的施策(4)効率的な行政の運営

No.	意見要約
1	視察等により、他自治体の取り組みを参考にする。
2	必要なところに必要な財政を施すことが、活性化に繋がるのではないか。
3	様々な事業や政策について、市民に分かりやすく、興味を持ってもらう様な周知をすべき。
4	税金の安いまち。年金だけでは生活できない。物価が高くなるため。
5	現在の地域の課題や問題点を考えることが必要。
6	生産年齢人口の減少、税収減少により、インフラ整備・維持が難しくなるので、ムダをなくすための、デジタル活用等が必要。

7	武雄市の名産品を探り、ふるさと納税の品として活用する。
8	町ごとの政策などを、工夫して組み合わせることが必要ではないか。

【意見分類13】

若者の活躍・支援

<意見に対応する総合戦略の具体的施策>

基本目標③育む～成長を支えるまち～／具体的施策(3)夢を持って成長できる学びの場づくり

No.	意見要約
1	夢を持ち、語り続けることが大切。夢を持つことが将来のまちづくりの基本である。
2	武雄アジア大学を推進するのであれば、是非成功させてほしい。
3	若い人の意見を大切にし、若い人を巻き込んでまちづくりを行う必要がある。
4	学校カフェなどを実施し、大人とこどもの交流の場を持つこと。親でも先生でもない誰かの存在は大きい。
5	中高生のボランティア地域活動
6	中高生が大人と交流を持てるようになる場の提供。中高生が自主的に参加しやすい仕組みづくりを。
7	子どもの交流会を実施すれば、他校との交流や他地域への関心につながるのではないか。
8	市民が持っている力を引き出すような、人づくり講座の実施。 それぞれの市民が持っている力を発揮することで、まちづくりにつながる。
9	地域にどのような企業があるか知る取り組みを行うと、将来、地元に戻ってきやすいまちになるのではないか。
10	地元の人々が、学校を訪問し、生徒に生活や仕事について教えることで、生徒の学びや、大人が若者を理解することにつながるのではないか。

【意見分類14】
地場産業の振興

<意見に対応する総合戦略の具体的施策>

基本目標②稼ぐ～働きがいのあるまち～／具体的施策(1)稼ぐ地場産業の基盤づくり

No.	意見要約
1	地域産業の発展 ・焼き物、温泉の活用 ・観光事業の充実 ・インバウンド対策
2	生活の基盤となる地場産業の発展
3	若い人が安定収入を得ることができる、安定した地場産業を創出する必要がある。
4	小さな店は大型店に飲み込まれている。自営業等でも継続できる状況にする必要がある。
5	地域内での経済循環を促す。
6	武雄ならではの特産品等をつくる必要がある。
7	賃金アップが必要
8	物価高騰に対応した賃金アップが必要

【意見分類15】
教育の充実

<意見に対応する総合戦略の具体的施策>

基本目標③育む～成長を支えるまち～／具体的施策(2)誰一人取り残さない教育の推進

No.	意見要約
1	ここでしか学べないというような、特色ある学校づくりを行えば、学ばせたい人は移り住むと思う。
2	魅力ある学校づくりを行うこと。学校が活性化すれば、地域の期待度もあがると思われる。
3	子供減少に伴い、小学校の統合等を実施。
4	武内、若木、東川登、西川登など、こどもが少ない。先進校などの取り組みも参考にしてみたい。
5	不登校の子ども達が集える場所(フリースクール・高校)をつくってほしい。
6	こどもたちの教育環境を充実させてほしい。こどもたちが未来の宝だと思う。

【意見分類16】
観光振興・交流人口の増加

<意見に対応する総合戦略の具体的施策>

基本目標④彩る～交流しにぎわうまち～／具体的施策(1)西九州のハブ都市の推進

No.	意見要約
1	武雄温泉の泉質の良さ、飲食店の多さ、交通の便の良さを活かす。
2	観光地としての充実、人が集まる環境づくりが必要。
3	人が多く集まるイベントを企画する。
4	武雄ストリートピアノ・川端横丁F1グランプリ等のイベントを開催し、イベントをきっかけにして観光誘客に繋げる。ニーズが存在する場所へ、資源を再配置し、有効活用する。

5	図書館や駅、新文化施設等で、スイーツフェスタなどのイベントを行うことで、学生でも訪れやすく、武雄のお店のPRにもなるのではないか。
6	夏祭りの実施。地域や市外の方に楽しんでもらえ、武雄を知ってもらう機会になるから。
7	武雄市図書館へ訪れる韓国人が増えているため、武雄でしか手に入らない付加価値のあるものを販売する。
8	文化・歴史・商業店を活かした市のパンフレットを制作し、市外からの集客を目指したセールスを行う。

【意見分類17】

自然環境の維持

<意見に対応する総合戦略の具体的施策>

基本目標⑤つなぐ～未来へ続くまち～／具体的施策(3)豊かな自然環境の維持と活用

No.	意見要約
1	自然ある町、ゴミを出さない、ゴミを集める、処理する社会にしたい。
2	キレイな町をつくる。やはり汚れていては人は寄ってこない。ゴミのない町にする
3	ゴミ拾い活動により綺麗なまちをつくることで、より多くの人々が心安らぎ、楽しく生活ができると思う。
4	地域通貨などを報酬として中高校生に地域のゴミ拾いに参加してもらう事で、若い世代が活発な魅力的なまちになるのではないか。
5	定期的なボランティア活動(ごみ拾い)。部活動などで忙しい学生も定期的にあると来れる日があるかも。
6	地域を発展させるために環境を壊していたら武雄の魅力が失われてしまう。武雄の魅力である自然環境を生かした上で観光面などにつなげるべき。

【意見分類18】
心身の健康支援

<意見に対応する総合戦略の具体的施策>

基本目標①守る～安心して暮らせるまち～／具体的施策(3)心身の健康を育む支援

No.	意見要約
1	周囲との関わりを持ち、常に何らかの活動を行うことが、健康につながるのではないか。
2	近くにすぐ行ける病院がある事が、安心につながるのではないか。

各種団体等へのヒアリングにおける意見

下記は、「5年後の武雄市が住み続けたい、働き続けたい、訪れたいまちであるために、今、私たちそれぞれができることは何だと思いますか？」という問いに対して頂いた意見を市で要約したものです。なお、同じ趣旨の意見については、掲載を省略しております。

【意見分類1】

子育て環境の整備

<意見に対応する総合戦略の具体的施策>

基本目標③育む～成長を支えるまち～／具体的施策(1)安心できる子育て環境の整備

No.	要約
1	今はほとんどが共働きであるため、病児保育の充実、給食費無償化等、子育て支援を充実させ、若者が戻ってくるまちになってほしい。
2	金銭的負担軽減(出産祝い金、保育料無償化、施設利用料割引等)や子育て世帯のニーズ把握が必要ではないか。
3	こどもの医療費無償化。子どもに係る費用は少しでも負担が少ない方が良い。
4	子供の医療費の助成制度の拡大。 九州内に幼少期の子供の無償化を行う地域はあるが、近隣地域で無償化している地域はないので、差別化できるのではないか。
5	出生児への補助増額や、貧困家庭等への支援強化など、少子化対策を行う。
6	ひとり親でも住みやすい街のため、ひとり親への支援を充実させるべき。
7	若い人たちが働きやすく子育てがしやすい環境づくり。 (例えば給食費、小・中学校無償化)
8	少子化対策のため、結婚、妊娠、出産、子育てに温かい社会を作る。 児童手当など経済的支援の強化、学童保育や産後ケアなどの支援拡充、働き方改革の推進など。
9	保育所の一時預かりの支援、妊婦の家事・育児ヘルパーの派遣支援など、女性目線の共働き世代への「仕事と育児・介護の両立」や「働きやすい職場づくり」。
10	放課後児童クラブ等の利用時間拡大など、子育て世代に必要な環境の拡充。

11	幼保小連携の取組の充実。 4歳児での健診、臨床心理士との個別の面談、公的機関の療育支援など、就学に向けつまづきがないよう、支援を実施してほしい。
12	子ども連れで入ることができる場づくり。キッズスペースのような複数人数の子ども連れの方々が気軽に集まれる場所があったら、保護者のリフレッシュができる。
13	こども、大人、多様な人が自由に、一緒に楽しめる公園づくり。
14	道路に面した狭い公園ばかりで、子供が外で遊ぶ機会が少なくなっている。こどもが安全に楽しく遊べる場が必要。
15	虐待から子供の命を守る。子供は弱いので、自立するまでは大切に育てることが大事。
16	保育者・教育者への市独自の支援。武雄市で「子どもに携わる仕事がしたい！」と思える環境をつくることで、保育・教育の現場も整うのではないかと。
17	誰もが自由に利用できる「絵本ポスト」の取り組み。読まなくなった絵本をポストに入れる。気に入った絵本があったら持って行く。誰もが気軽に絵本とふれあうことができる。
18	栃木県の保育士 大川繁子さんの保育を取り入れてはどうか。

【意見分類2】

企業誘致・雇用促進

<意見に対応する総合戦略の具体的施策>

基本目標②稼ぐ～働きがいのあるまち～／具体的施策(3)新たな活躍の場づくり

1	人口流出を阻止するため、地元企業支援や企業誘致などによる安定的な雇用確保とまちの利便性向上の取り組みを進める必要がある。
2	若者の働く場がなければ、市外へ流出してしまう。今後の武雄市の担う若者の定住化を図るため、積極的な企業誘致を推進する必要がある。
3	集客力のある企業の誘致。コストコやIKEA、イオンモールなどを誘致することで、求人や定住人口の増大や近県からの集客も大いに見込める。武雄温泉という地域の強みに新しいコンテンツがプラスされる。
4	IT等、先端技術企業の誘致を積極的に推進し、若者の定着を増やす。

5	大学設置、新幹線開業など、人の集まる要素がある武雄市だが、定住を考えたとき、若者の就労に向け、選択肢が広がるよう企業誘致が必要。 また、障がい者受け入れの就労支援事業所(特にA型作業所)が少ないと思う。
6	若者や働き世代のための雇用の場を増やすことで、定住者も増え、おのずと子供たちも増え活気のあるまちになる。
7	まずは生業となる仕事があることが前提。ハードでもソフトでも構わないので、職業の選択肢が広がるような取組が必要。それによる税収増も見込める。
8	働く場がなければ転出せざるを得ず、Uターンや移住も困難になる。 高齢化や人口減少は消防団員の減少にもつながるため、働く場の確保は必要。
9	企業と求職者のマッチングの推進
10	子育てに対する企業の理解が必要。 小さい子がいるだけで働けない、断られるという職場もある。
11	若い世代が働きたいと思う魅力的な企業や施設づくり。大学と一体的に考えてはどうか。 また、介護職の待遇向上が必要。

【意見分類3】

観光振興・交流人口の増加

<意見に対応する総合戦略の具体的施策>

基本目標④彩る～交流しにぎわうまち～／具体的施策(1)西九州のハブ都市の推進

1	<ul style="list-style-type: none"> ・他の市にはない競輪事業を有意義に活用する。 ・六角川兩岸サイクリングコースの整備。 ・自然に恵まれた地域性を生かした、四季を利用した観光名所づくり。 ・市内の観光名所の看板をもっと多く作り立てる。 ・地産地消の飲食店を1か所に集め、他県からの利用者を増やす。
2	観光資源が充実しているが、広範囲に散在している。 宿泊は旅館やホテル、食事は地元の特色のある食事処とすることや、観光施設を回遊できるようなモデルコースと交通手段の開拓(競輪体験ツアー、窯元体験ツアー)など、一元化して提供できないか。
3	温泉、食事、遊び場などが一体となった複合施設などがあれば家族連れも集まりやすいのではないか。
4	温泉旅館に宿泊しても、食事付きにすると高額になる為、食事を付けない客もいると思うため、飲み屋街ではなく、入りやすい食事処が増えたらいいのではないか。

5	武雄温泉周辺は、街歩きをするには観光資源が少ないように感じる。お土産屋などが、温泉街に並んでいてもいいと思う。また、観光地とするには宿泊地が少ないため、武雄に観光に来られる場合でも、嬉野市や佐賀市に宿泊されたりする。
6	旅館などは客単価が高く、絶対客数は少ない。より多くの客を取り組むには素泊まりで安く宿泊できる施設は必須。また、比較的大規模な会議などを誘致するにもコンベンションホールがあれば、宿泊も見込め他業種にもメリットは大きいと感じる。
7	武雄温泉を活かした観光振興を行政が支援する必要がある。
8	100年後に武雄が世界でも有名な観光都市となる取組をする。 例：温泉通りから見える山を全て落葉樹に植え替える。 武雄の川の水質を、泳いだりテントサウナ後に入れるレベルまで改善する。
9	・交通のハブとして周辺地域と連携した観光メニューの充実 ・インバウンド観光の要であるWi-Fi環境の公衆スポットの充実
10	官民サポートによる観光事業者の財務基盤改善。 観光業界労働者に係る処遇改善を図り、観光業界に従事する労働者の安定的確保とおもてなし向上に繋げる。
11	新幹線開業に伴う、武雄温泉駅周辺のまちづくりを進める。
12	移住・定住促進のため、新幹線通学通勤の利便性を向上させる。
13	新幹線が全線開通するまでに武雄の認知度をUPの取り組みを行い、全線開通後にも通過自治体とならないようにする必要がある。
14	観光地としての交通アクセスの充実のため、西九州新幹線全面開通は必要と思われる。
15	映画館やイベント会場があれば、佐賀や福岡まで出かけることなく気分転換が出来るし、まちににぎわうのではないかな。

【意見分類4】

暮らしやすさ

<意見に対応する総合戦略の具体的施策>

基本目標①守る～安心して暮らせるまち～／具体的施策(2)暮らしやすい住環境の整備

1	環境美化の取り組み。観光地など、初めて行く所の第1印象は、歩道・道路・駅ターミナル等の整備状況と美化と思う。整備はハード面のことだが、美化はソフト面に対応可能。「ゴミを散らかさない」等の市民活動を広げるとともに、お客様にも協力を仰ぐ活動にする。
2	2世代3世代住宅の支援によって、人口分散化を防ぎ、地域コミュニティの繁栄につながるのではないか。
3	公園など、友達と過ごせる場所、居場所が欲しい。
4	武雄川の河川敷は、街灯、ベンチ等の整備により、市民の集いの場になるのではないか。
5	学生が勉強し易い場所を増やす必要があるのではないか。
6	道路沿いの木々の管理や、見通しの良い環境づくりなど、生活道路の整備を通じ、安心安全な住みよい町づくりが必要。
7	まちを明るくする必要がある。夜の武雄の町は暗く、若者は平気でも高齢者は歩けない。国道34号線沿いは、水害以来、店や住人が減り、益々暗く感じる。
8	横断歩道、中央線や外側線などの路面標示が消えかけており、路肩の草刈りができておらず危険。道路拡幅や歩道整備により、歩行空間の確保が必要。
9	市内ハード面の整備が必要。 歩行者やシニアカーなどが安心して通れる道幅や道路の舗装等を行うことが、が安心した外出、市民の行動範囲の拡大に寄与すると考える。また、武雄アジア大学の設立に合わせた整備も必要。そして、観光面でも観光地を巡るルートを明確化し観光客の満足度向上を促進できると考える。
10	運転者・歩行者両側面から交通安全教育を進め、社会の交通安全意識の高揚を図ることで、安全な武雄市につながる。
11	交通安全キャンペーンや啓発活動は、各町の各団体の協力を得ながら実施しており、活動を継続するためには、婦人会や長寿会等、各種団体への助成が必要。
12	環境整備(空き家対策)を促すことで、市民や武雄市へ移住される方へ武雄市の生活の安全性をアピールする効果があると考えられる。 また、耕作放棄地も登記申請手続きフローの明確化を促す等対策を行う必要がある。

13	商業施設・住居・病院・子育て等、生活に必要なインフラの整備なくして住みたいまちにならない。
14	武雄市周辺には現在、残土処分場が足りず困っている建設業者が多数いる。また、土地が低い場所が多く、ニーズの割に住宅地の造成が進まない。低い土地を土処分場として活用すれば、建設業者、家を建てたい人双方にとっていい取り組みになるのではないか。
15	人が集まるゆめタウン周辺において、イベントが企画しやすいような、土地利用をした方がいいのではないか。

【意見分類5】

交通の利便性向上

<意見に対応する総合戦略の具体的施策>

基本目標⑤つなぐ～未来へ続くまち～／具体的施策(2)持続可能な公共交通の整備

1	MaaS(Mobility as a Service)の早期導入が必要。武雄市でも早期に導入すれば、周辺部対策にもなり、観光やビジネスの発展に繋がるのではないか。
2	高齢者の事故防止のため免許返納が勧められているが、車以外の公共交通(バス・タクシー)が充実していないため、公共交通の充実を図る必要がある。
3	免許を返納した人も住み続けるためには、利便性が良い乗り合いバスがあればいいのではないか。
4	新幹線が開通に伴い、鉄道の本数が増え利用しやすくなったが、バスについては本数が少ない上に、バス停までの距離は長く、高齢者の移動手段として過酷。ほんわカーをもっと充実させて使いやすくしてほしい。
5	新幹線開業で列車本数の減った長崎本線(鹿島・白石方面)の本数を増加させることで、利便性が高くなるのではないか。
6	西九州新幹線のフル規格の早期実現により、武雄に多くの地域からの誘客を図る。併せて宿泊施設の整備支援が必要である。
7	持続可能な地域公共交通を整備する必要がある。地域公共交通は、住民の暮らしを支えるだけでなく、観光客などの来訪者との交流を促すなど、まちづくりや地域づくりの重要な基盤であるため。
8	歩こう佐賀県と謳っているが、JRなどは、本数も少ない上に料金が高い。武雄発着分の助成があれば、少しは公共交通を利用しようかと考える。
9	市街地から距離がある地域へ定期的な移動支援が必要ではないか。
10	移動サービスを充実させる必要がある。福祉タクシーや施設での福祉有償運送の廃止に伴い、移動困難が増えている。

11	行政、民間、専門分野が連携し、公共交通の充実を図ることで、人にも環境にも優しいまちになる。また、高齢者、障害者など支援が必要な方への移動支援については、住み分けて考える。
----	---

【意見分類6】

多様性の尊重・つながりづくり

<意見に対応する総合戦略の具体的施策>

基本目標④彩る～交流しにぎわうまち～／具体的施策(3)多様なつながりで築く豊かな地域づくり

1	若者を交えて将来像を構築し、楽しく明るく夢のあるまちづくりを目指す。
2	20代、30代世帯への補助金など、若者が住みたいまちを目指す。
3	佐賀県の「人権条例」が、市のどの事業に当たるのか明確にする必要がある。
4	耕作放棄地の草払いや、野菜づくりなどをイベント化し、交流人口の増や移住につなげる。(住民の困りごとを地域外の人が助ける)
5	定住人口増加に向け、I・J・Uターン促進の補助制度を充実させる。
6	都会に住む人は、定年後の田舎暮らしを希望する人も多いと聞く。空き家をリノベーションして提供することや、医療機関の充実が有効ではないか。
7	家を建てる際の助成があれば、定住につながるのではないか。
8	在留外国人が孤立することなくいつでも相談できる場所、またインバウンド客が増える中、ふらっと立ち寄れる場所をつくる。行政の取り組みには限度があるため、国際交流協会のような団体がそこを管理することが望ましい。
9	男女共同参画社会の実現に向け、次世代を担う若い世代が、家庭・地域・学校において、子供たちを性別役割分担に捉われずに育てること。
10	多様で柔軟な働き方ができる職場づくり、男性が家事・育児に参画できる社会づくりが必要であり、そういった取り組みをする事業所等に対する支援や社会意識の醸成が重要。
11	男女共同参画社会の実現のため、男女共同参画を推進する団体の活動に参加したり、拠点づくりを支援したりすること。
12	現在、結婚適齢者の独身男女が多いのは、男女の出会いが少ないことが要因の一つである。結婚相談だけではなく、独身男女の交流イベント(例:バス旅行やボーリング大会)を計画することで、カップル・子どもも増えるのではないか。

13	空き家を利用した居場所づくり。転入してきた方も地域の方と交流する機会がなかなかないため、曜日ごとにターゲット世代を絞ったイベント等を計画してはどうか。
14	ボランティア企画の実施。色々な層の方が参加しやすい活動(例:ゴミ拾い運動、募金活動、その他困りごと解決)は交流の場にもなり、「ボランティア」という名の労働力も確保できる。
15	ちょボラ運動で愛あふれるまちづくり。 例えば、あつまれどうぶつの森みたいに、見える化し、達成感を味わうなど。

【意見分類7】

地域資源・特色を活かしたまちづくり

<意見に対応する総合戦略の具体的施策>

基本目標⑤つなぐ～未来へ続くまち～／具体的施策(1)地域の特色を活かしたまちづくり

1	中心市街地だけでなく、周辺部への移住者を増やす為にも、周辺部の魅力向上が必要。
2	周辺部の人口減少に伴い、増加している空き家を利活用するなど、都市部からの移住・定住を促す。
3	周辺部を含め武雄市全体が活性化するような取り組みをすることにより人口流出抑制、交流人口増加につながるのではないかな。
4	地域活動の停滞化を防ぐことを目的として、地域独自の取り組みへの補助を行うなど、地域に活力をあたえる必要があると思われる。
5	行政だよりではなく、自分達が様々な地域行事に参加し、意見を出すことがまちの活性化につながるのではないかな。
6	日常生活のちょっとした困りごとは、ご近所同士で支援する。
7	地域行事の継続、コミュニティ活性化のため、各地域活動への支援の充実が必要。
8	昨今、災害が増えるなかスピーディーな情報収集また円滑な情報共有が必要。そのために、住民同士の繋がりや地域での交流が活性化することが重要。
9	地域の祭りは大人から子供まで参加し、地域に誰が住んでいるか分かり、また交流が生まれるため、継続すべき。
10	地域コミュニティ活動への参加。人口・若者減少に伴い地域コミュニティの存続が危ぶまれている。その土地の人々の生活こそ、地域の文化であり、ひいては観光資源になりうる。

11	地元を誇りを持つ、地元を好きになる取組が必要。中長期的にみると地元への定住、一度県外へ出た方のUターンに繋がると考えるため。
12	郷土(地域)愛の醸成が重要である。消防団など、地域活動への参加は、郷土や地域へ貢献したいという思いがないと入団へつながらない。
13	支え合いのまちづくりにつながるような取組が必要。地域行事に子どもから大人まで参加して交流を通して、思いやりや支え合い、郷土愛が生まれる。ふるさとで過ごした期間にたくさんの方との交流があれば、地域のあたたかさを感じ、育ったところに住み続けたいと思うと考えられるから。
14	市の祭りを集約したことで、駐車場不足などが生じるようになり、行きにくくなった。町ごとの祭りを継続してほしい。
15	地域行事や消防団活動の見直しが必要。共働き、核家族が多い中で、休日に時間をさかれることが多い。

【意見分類8】

文化・スポーツ振興

<意見に対応する総合戦略の具体的施策>

基本目標③育む～成長を支えるまち～／具体的施策(4)文化・スポーツを身近に感じる環境づくり

1	地域の祭りや伝統芸能の活性化により、地域活動の停滞化を防ぐ。
2	おつぼ山(神籠石)等、全国的にもまれにみる史跡・歴史を財産として考える。歴史をクローズアップする。
3	文化財・歴史などを活用し、武雄市を知る、訪れるなど、交流や移住につながるきっかけをつくる。
4	武雄に開校する大学、佐賀県立大学、佐賀大学、企業に勤めておられる方の協力と、日本の古典芸能・文化とのコラボによる「東アジア文化祭」を継続的に行うことにより大きく東アジアの文化のハブ都市を目指す。
5	白岩運動場に電気時計設備の導入。スポーツ活動の充実を行うなら、せめて陸上競技場は電気時計であってほしい。
6	屋内プールの新設。近隣に屋内型のプールがないため、武雄にあれば人が集まると思うから。
7	ニュースポーツ体験活動教室を様々な地域、団体、企業に普及させる。
8	市民参加型スポーツ大会の開催。誰でも気軽に参加でき、楽しめるスポーツを取り入れ、健康寿命の延伸を目標に取り組む。

9	比較的新しいスポーツ施設である市民球場や市民体育館などで合宿プランなどを作成し、これまでにない客を呼び込む。
10	高齢者・成人のサークルは多が、文化会館のリニューアルに合わせて、若者の受け入れサークルが増えればよいと考える。
11	中(高)の部活動の地域移行・連携。 少子化、働き改革等の中で、子供たちのスポーツ・文化活動の保障のため、大きな課題として指導者の養成確保が重要。 大学開校にあたって、部活動指導補助に期待したいし、不登校対応なども学生の力をお借りしたい。

【意見分類9】

災害への備え

<意見に対応する総合戦略の具体的施策>

基本目標①守る～安心して暮らせるまち～／具体的施策(1)災害に強いまちづくり

1	住みたいまちにするためには、水害のないまちにする必要がある。 ・安心して住み続けられるよう、冠水対策、住居の高台への移転対策が必要。 ・大雨での国道が通行止めになると、生活に支障が出る。 ・田畑の耕作放棄以上に、山間部が手入れされておらず深刻な状態。行政による山間部の買取と貯水プール等の設置をしてはどうか。
2	排水機場操作員の担い手(後継者)不足に対する取り組みが必要。長時間拘束されるため、高齢者は難しい。後を引き受けてくれる人がいないのではないかと心配。
3	昨今の大雨や猛暑など異常気象が頻度を増しており、それに備えたインフラ整備や地域での訓練などの準備が必要。
4	人口減少を食い止めることや、安定した農業を営むためにも、水害対策が必要。
5	水害をなくすために、水をためるところを作らないと安心できない。
6	六角川の治水が必要。土手の強靱化、蛇行の修正等。
7	水害対策の強化、抜本的対策が必要。R元年、3年の大水害により、今度大水害が起こった場合、転出者の増加、店舗業の廃業の増加、転入者の減少が懸念される。
8	定住を促進するためには、災害が少ないイメージを定着させる必要がある。

9 消防団組織の維持が必要。地域の安全は地域で守るという使命を受ける消防団が存在することで、市民の安心安全につながる。

【意見分類10】

若者の活躍・支援

<意見に対応する総合戦略の具体的施策>

基本目標③育む～成長を支えるまち～／具体的施策(3)夢を持って成長できる学びの場づくり

1	地元企業を知る・企業と接する機会の創出。 地元の企業を知らないことで就職の際の選択肢に入らず、県外へ人材が流出するということがないようにするため。
2	公民館や学校などを活用した、企業の最新技術などに触れる機会の創出。家庭環境に左右されず、ここに来れば夢中になって遊べる・心から信頼できる大人がいるという場を作ることが、子どもの心・力を育むと考えるため。
3	共同募金等を活用した、子どもたちのクラブ活動や学校外の活動の拡充。子どもたちが社会とつながる機会が増えるだけでなく、まちをあげて活動を応援しやすい体制を整えるため。
4	若年層の価値を最大限に活かすため、大学とまちづくりの連携。行政や民間団体が大学と積極的に交流出来る様に。
5	子ども：地域学習の強化。インターンシップや課題解決型の学習、子供のころから社会の一端を担えるような仕組みづくり、地域交流や観光交流等体験型の学習を増やし、学力だけではなく起業家や地域DXの一端を担える若者を排出する支援。 大人：リカレント教育やリスキリングをサポートできる仕組みづくり等、市を挙げて教育を強化。社会人になってからでも自己投資できる環境が整っていれば、所得向上につながるのではないか。
6	地元で高度なIT関係を学ぶ場の創出。IT、グローバルな世界感を持った人口の増加が必要。
7	武雄アジア大学の設立推進、アニメ関係の専門学校誘致が必要ではないか。
8	武雄アジア大学について、現在少子化が進んでおり、数年後は厳しい大学経営になると思われる。魅力ある大学づくりに向け側面支援(居住・交通費)が必要。
9	大学誘致の実現。学生がまちに増えることで、市全体が活性化すると思う。
10	武雄アジア大学の設置実現。超エリートを目指すのではなく、地元で根差したエリートを養成する。

【意見分類11】

高齢者支援の充実

<意見に対応する総合戦略の具体的施策>

基本目標①守る～安心して暮らせるまち～／具体的施策(4)高齢者・障がい者の充実した暮らしの支援

1	高齢者の雇用マッチングシステムを構築することで、雇用の拡大、高齢者の所得の確保、更には介護予防につながる。
2	eスポーツ大会などは、こどもから大人まで楽しめるイベントになるのではないか。
3	障がい者と触れ合う、一緒にスポーツをする等、障がいのある方の共生社会を目指す啓発活動の推進。
4	介護者が孤立しない仕組みづくりや自治会の民間化などによる、働きたくても働けない地域の高齢者の収入源づくり。
5	高齢者は、一人暮らしや夫婦で生活している家庭も多く、孤独を感じたり、生活に不便さを抱いたりする人も多い。高齢者の預かりサービスの充実や循環バスのルート拡大が、高齢者の暮らしやすさにつながるのではないか。
6	独居老人が孤独にならないよう、地区公民館の活用等、高齢者の居場所をつくる。
7	高齢者や一人暮らしの生活を守るため、地域での見守り、高齢者等への詐欺を防ぐための警察や行政との連携が必要。
8	福祉関係施設は、現在分散されている。市総合福祉センターを設置して、子供、高齢者、障がい者等の健康管理の推進と関係団体の連携強化の推進をしてはどうか。

【意見分類12】

農林業振興

<意見に対応する総合戦略の具体的施策>

基本目標②稼ぐ～働きがいのあるまち～／具体的施策(2)強い農林業づくりの支援

1	農業を支えるため、市役所、消防署、郵便局、農協等においては農業従事者を優先的に採用し、在職中は兼業農家、退職後専業農家としてはどうか。
2	農業後継者不足の解消のため、就農者育成として若い世代にトラクターや草刈り機など、農業用機械の講習を実施してほしい。
3	国が推奨する農業の法人化は難題であり、現在の集落営農組織は、実際はJAが中心とななった個人農業者の集まりである。集約した農業組織を推進すべきである。

4	農業の魅力を高める取り組みを行い、若い人の就農、農産物販売額の増加につなげる必要がある。
5	中山間地では畑が荒れ、個人での草払いが大変であるため、自走式の草払機等のリース貸出などがあればいいのではないか。
6	米不足が取り沙汰される中、市街地も農村部もある武雄市ならではの取り組みとして、フードロス対策等を発展させた農業活性化の取り組みができないか。
7	安全な食を作る環境、武雄の強みである農業を大切に守るべき。 日本の文化は全て農耕によって繋がる為、農耕を大切にすることで地域の日本文化として、様々な産業や行事、地域風習の色々が存続できる。

【意見分類13】

心身の健康支援

<意見に対応する総合戦略の具体的施策>

基本目標①守る～安心して暮らせるまち～／具体的施策(3)心身の健康を育む支援

1	更なる出生数・年少人口の低下、医師の働き方改革の推進等を見据え、24時間体制で、安全で質の高い小児医療の提供体制を構築するための機能分化・連携について、引き続き取り組んでいく必要がある。
2	受診したいときに、受診できるよう、医療機関の受け入れ態勢を充実させる。
3	市営の健康・運動・温泉の設置により、いつでも気軽に健康づくりに取り組めるのではないか。
4	健康増進のため、健康に関する講義や、健康診断の受診率向上を図る。軽スポーツのへの参加の推進を行う。
5	食改事業の企画・立案により、地域でのつながりづくりや健康、生きがい、楽しみ、学びをもたらす活動となるのではないか。
6	生活に困っている人の相談支援を充実させることが、安心して住み続けられるまちにつながる。

【意見分類14】

効率的な行政運営

<意見に対応する総合戦略の具体的施策>

基本目標⑤つなぐ～未来へ続くまち～／具体的施策(4)効率的な行政の運営

1	施設の集約。市の施設(文化会館、野球場、体育館、その他)を1か所にまとめて駐車場を広く取り使いやすくする。
2	さまざまな分野におけるデジタル活用。人を助ける手段としてのデジタル活用と、それによって集約されるデータの分析により、次にすべきことが見えてくるのではないか。
3	行政手続きの簡略化(オンライン上でできる手続きを増やす)。働いている世代は特に市役所の開庁時間に来庁できない場合が多く、外部から移住を検討している人にもアピールできるポイントになると思う。
4	ふるさと納税について、徹底的なマーケティングと広報で5年で全国一の増加率を目指す。
5	地域での困りごとを相談できる窓口の設置。地域での困りごとは、たくさんあるがいいにくい。窓口を通して、意見を聞いてもらったら、若者や移住者は安心できると思う。
6	住民幸福度調査。住民がどのくらい街に住みやすさを感じているか、幸せを感じているかを調査することで、住民が思う「武雄のオシ」、「武雄の魅力」更には改善点などを示すことができる。

【意見分類15】

地場産業の振興

<意見に対応する総合戦略の具体的施策>

基本目標②稼ぐ～働きがいのあるまち～／具体的施策(1)稼ぐ地場産業の基盤づくり

1	〇〇は武雄にしかできないという、(物に拘らない)新しいものを創り出し、〇〇の町武雄という新しいブランドをつくりあげる。
2	林業、農業、窯業、観光などの基幹産業への支援が必要。後継者が期待できず、衰退する懸念がある。
3	佐賀県は最低賃金が低く、物価高騰により生活が大変であるため、賃金上昇のための対策が必要。
4	今後さまざまな業界で業務効率化のため、ネットを活用したやり取りが増えてくることも予想されるため、市内事業者のITリテラシーの向上の取り組みが必要。

【意見分類16】
自然環境の維持

<意見に対応する総合戦略の具体的施策>

基本目標⑤つなぐ～未来へ続くまち～／具体的施策(3)豊かな自然環境の維持と活用

1	エコ対策の取り組みへの補助制度等の充実。エネルギー価格高騰への対策の必要性も踏まえつつ、民間と共同し取組支援することで、地域全体で再エネ・省エネ・蓄エネといった地域・くらし分野の脱炭素化を推進できるのではないかな。
2	山に囲まれた自然豊かな武雄市が、自給自足でき、生きていく為の不安を取り除いてくれる村(山納銀之輔さんのエコビレッジのような)づくりをバックアップしてくれたら、全国からまた世界中から人が来ると思う。経済的な発展のみならず、非経済的なものの発展にも力を入れてほしい。
3	武雄の川や森、生態系をさらに豊かにする。「武雄は川が綺麗なまち」となればこんなに魅力の上がることはないと思う。市民も益々武雄が好きになり子供達に誇れる住み続けたいまちになると思う。
4	ごみの徹底資源化推進。ゴミは地域活性化やまちづくりのきっかけである。 老若男女が物を大切に作る心で美しい町を目指し、豊かな自然と暮らしを未来の子どもたちに残したい。

【意見分類17】
情報発信強化

<意見に対応する総合戦略の具体的施策>

基本目標④彩る～交流しにぎわうまち～／具体的施策(2)効果的な情報の発信

1	郷土料理やお祭りなどをsnsで発信し、他の町から来ている人にも武雄の文化を知ってもらおう。
2	武雄市がどんなまちなのか、何が魅力なのか、興味を持ってもらうPR動画の制作。